

組合員 WEB アンケート「あなたの声をパルシステム東京へ！2024」まとめ

パルシステム東京 機関運営室

1. 目的

広く組合員の声を集め、政策や事業の方針づくりの参考とする。

2. 実施概要

- (1) 実施期間：2024年10月21日（月）～11月24日（日）の5週間
※実施期間にホームページ、メールマガジン、パルシステムアプリなどで広報
- (2) 集約対象：全組合員
- (3) 集約方法：WEBアンケート

3. 参加組合員属性

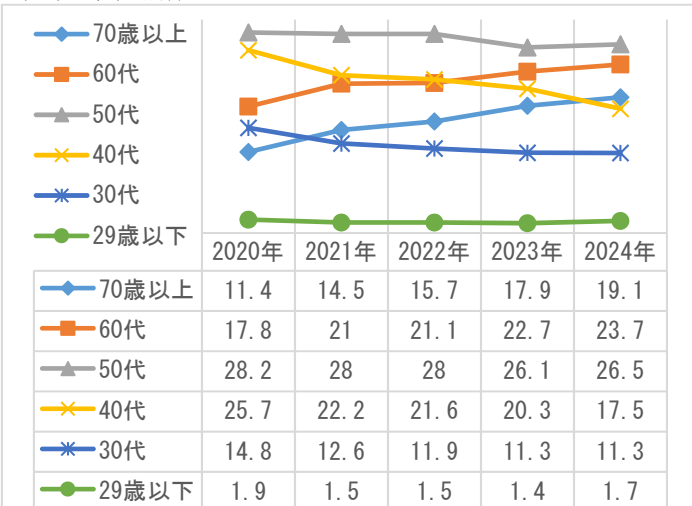
(1) 参加総数、お住まい

回答数：8,159 件
区部：約 61% 市部：約 39%

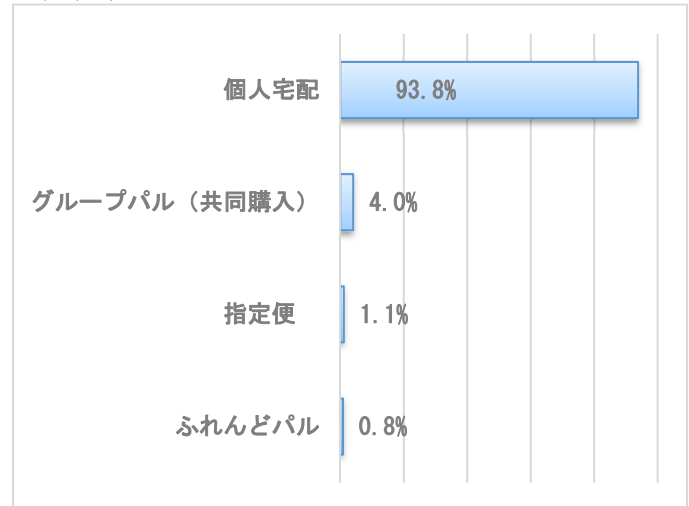
(2) アンケート参加

今回初めて意見を寄せた方	：約 60%
去年もしくはそれ以前にも意見を寄せた方	：約 39%

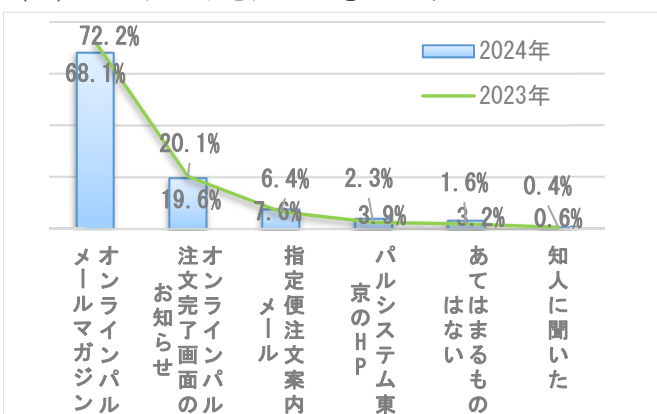
(3) 年代構成



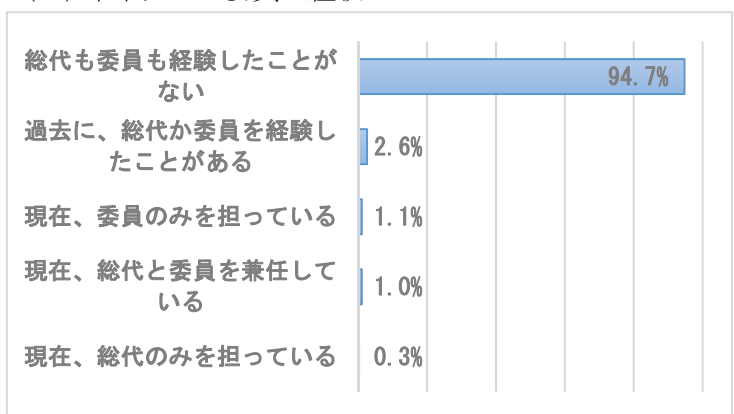
(4) 利用形態



(5) アンケートを知ったきっかけ



(6) 総代※1・委員の経験



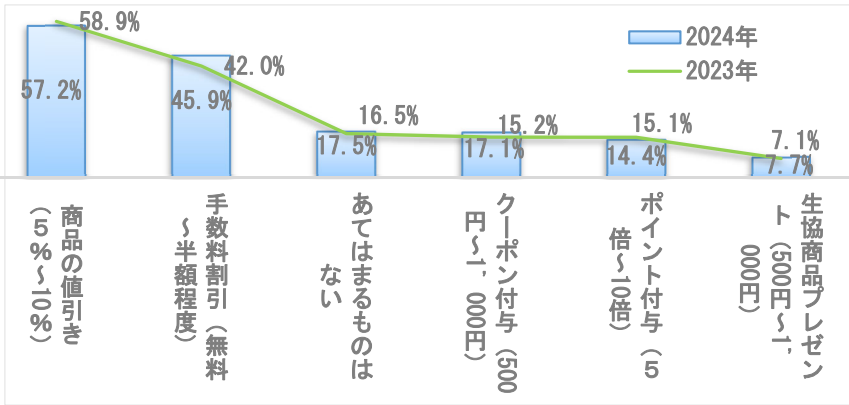
※1 総代・・・パルシステム東京の53万人の組合員から510人を、9つの地域区ごとに選出しています。事業や組織の活動の進捗をチェックし、生協の最高意思決定機関である「総代会」でパルシステム東京の事業や組織の活動の方針を議決します。

<参加組合員の属性について>

- ・回答者の年代構成は、50代以上の回答者が約7割を占め、東京23区内の利用者が6割超となっています。初めての参加者が約6割となり、30代以下ほど初参加率が高くなっています。総代や委員の経験者は少数で、9割以上が未経験です。全体として、中高年層の個人宅配利用者が中心となっています。
- ・広報は昨年同様オンラインのみで行い、認知経路はオンラインパルメールマガジンが主要となりました。

4. 回答結果 ※以下、経年比較グラフ内の数字は最新年度のみ掲載しているものもあります。

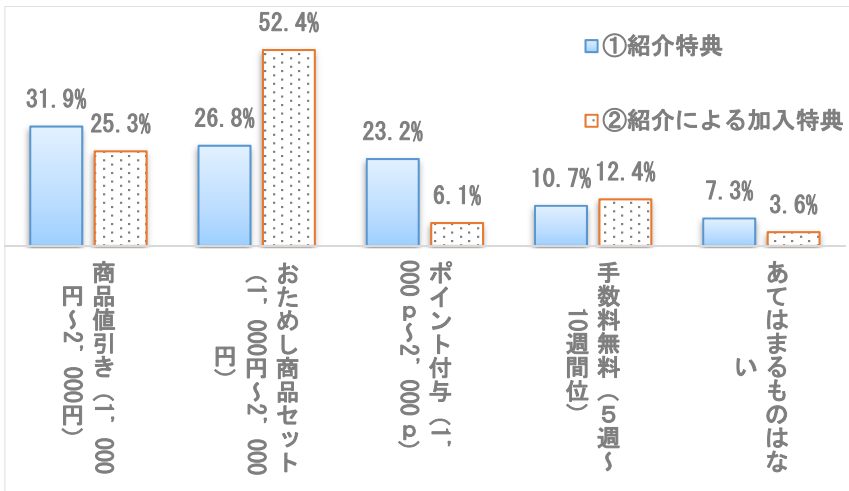
【設問1】パルシステムを継続的に利用したくなる魅力的な特典は何ですか。(最大2つまで選択可)



・全年代を通じて「商品の値引き」と「手数料割引」が高い結果となりました。他の特典では、30代以下で「クーポン付与」や「生協商品プレゼント」を、50代以上では「ポイント付与」を選択されています。また、年代が上がるにつれて「あてはまるものはない」の回答が増加し、特典に対する関心の差が浮き彫りとなりました。

【設問2】パルシステムの紹介特典について、お答えください。

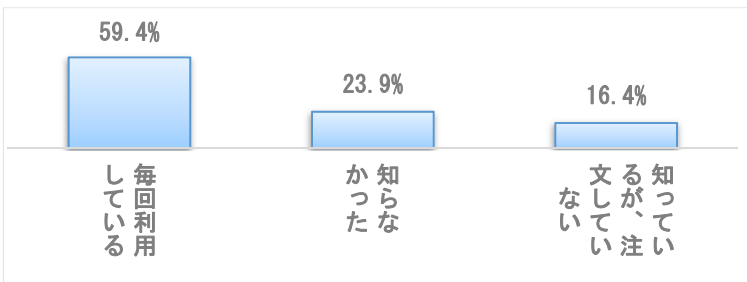
- ①お友達やお知り合いを紹介いただいた時のプレゼントとして一番魅力的なものは何ですか。
- ②紹介によって加入したお友達やお知り合いにとって、喜ばれると思うプレゼントは何ですか。



・①の紹介特典は、世代別にみると29歳以下は「手数料無料」、30代は「商品値引き」、50代以上は「ポイント付与」を好む傾向となりました。
 ・②の紹介による加入特典は、どの世代でも「おためし商品セット」が最も多く選択されています。

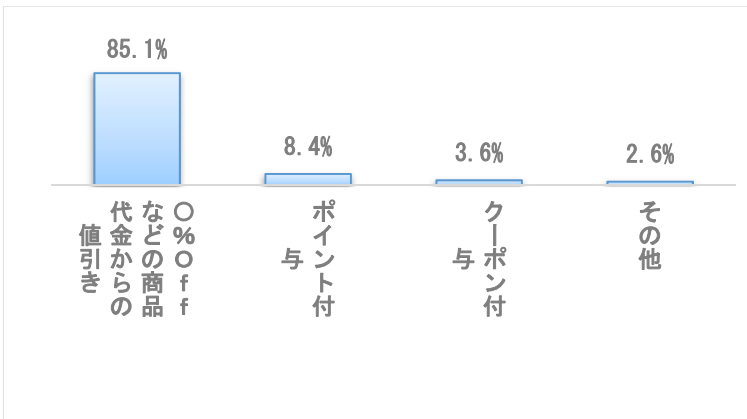
【設問3】パルシステム東京独自で「暮らし応援企画」を年に数回実施していますが、ご存じですか？

※「暮らし応援企画」は、日頃の感謝を込めた利用還元の一つで、お買い得に商品を利用できる企画です。



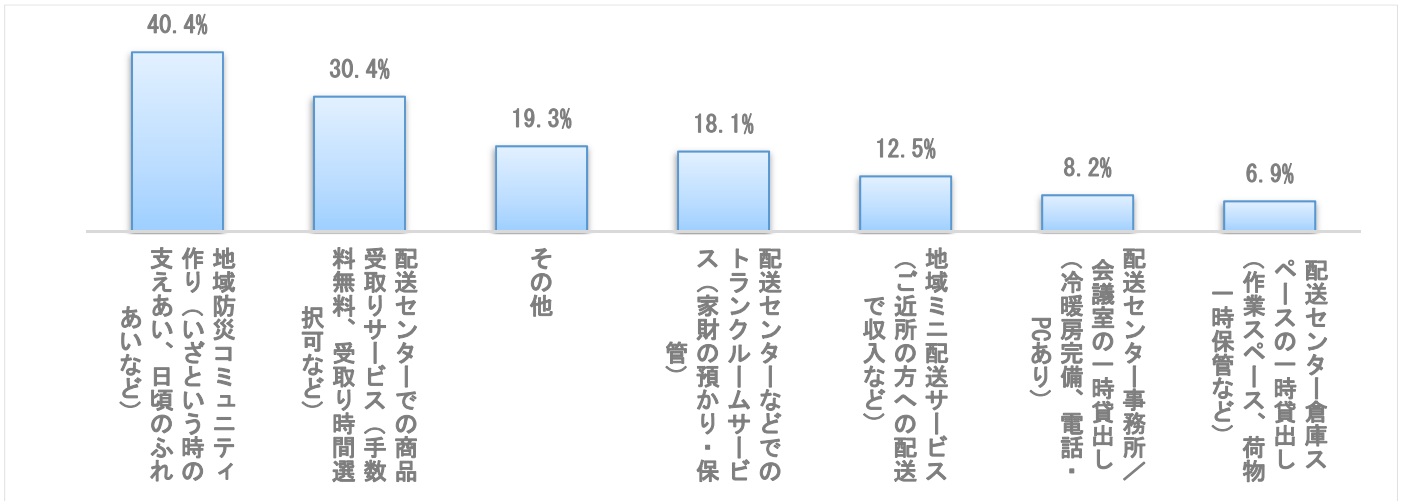
・【設問3】は今年新設の設問です。
 ・年代別では40代以上で利用率が高い傾向が見られました。特に60代の利用率が最も高く、29歳以下が最も低い傾向です。一方、70歳以上は、「知っているが注文していない」割合が他の年代より高くなりました。

【設問4】今後の「暮らし応援企画」で期待したいことはなんですか。



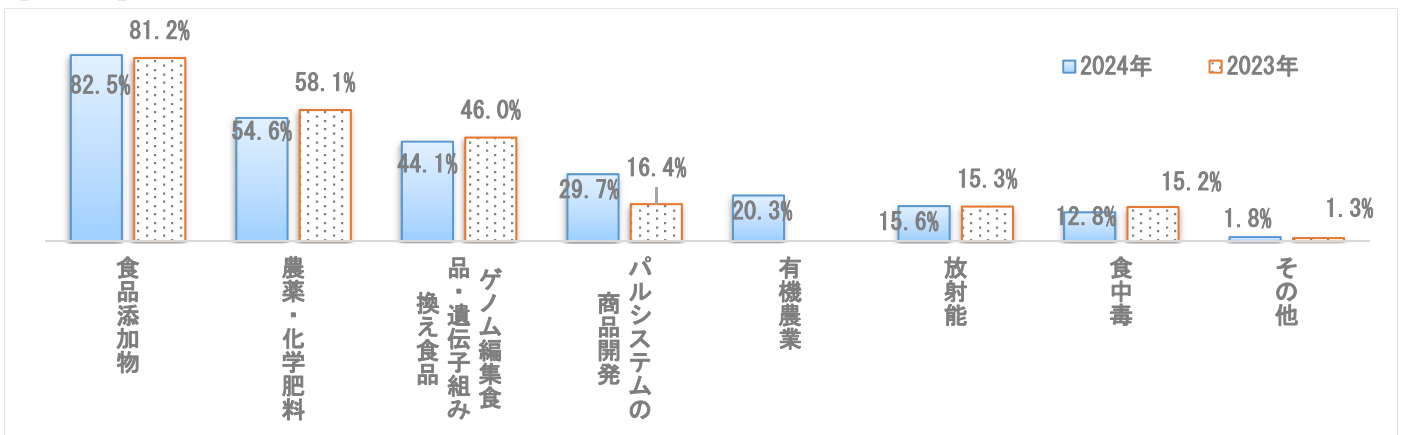
・【設問4】は今年新設の設問です。
 ・全年代で「商品代金からの値引き」が最も高く、全体の85.1%を占めています。年代別では、40代が88.7%と最も高く、29歳以上が74.3%と最も低い傾向です。「ポイント付与」は全体で8.4%ですが、70歳以上では13.0%になります。29歳以下は他の年代と比べ、「クーポン付与」への期待が15.0%と突出して高い傾向となりました。

【設問5】 今後の持続可能な事業運営に向けて、新たな取り組みを検討しています。
 次の中で、内容に関心が持てたり、賛同できるものをお答えください。（最大3つまで選択可）



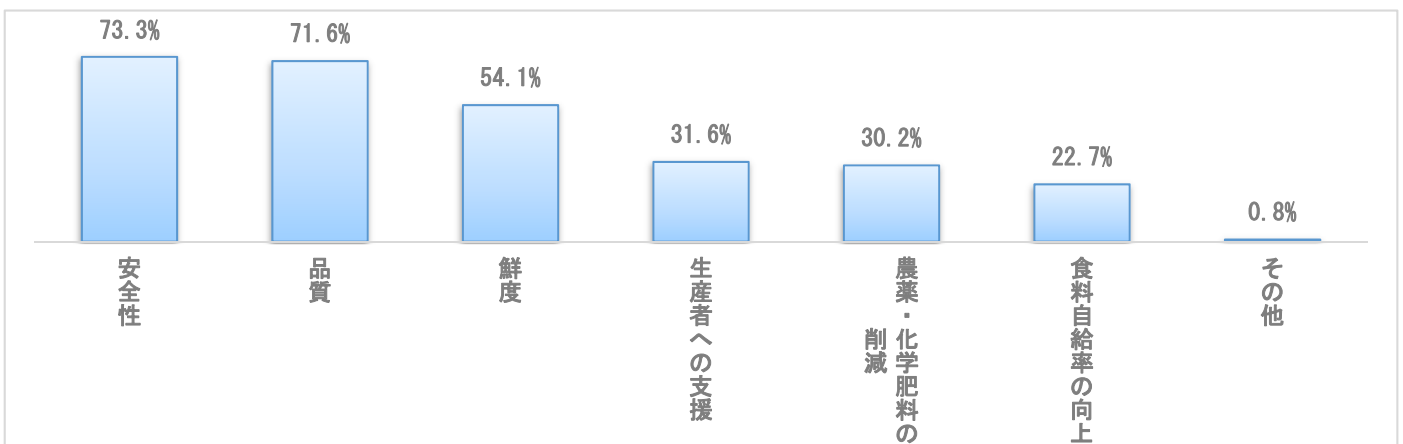
- ・【設問5】は今年新設の設問です。
- ・年代別では、40代以下は「配送センターでの商品受取りサービス」に高い関心を示し、60代以上は「地域防災コミュニティ作り」への関心が増加する傾向となりました。

【設問6】 食の安全に関してお聞きします。関心の高いテーマを選んでください。（最大3つまで選択可）



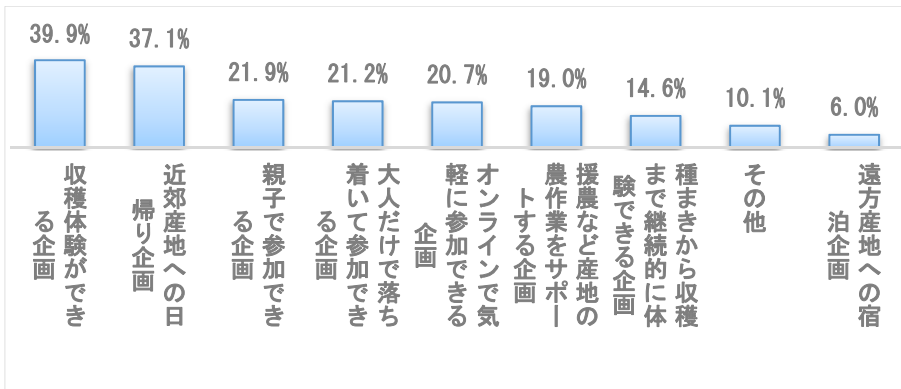
- ・全年代で最も関心の高かった「食品添加物」ですが、特に70歳以上で関心が高まる傾向となりました。一方、29歳以下は「パルシステムの商品開発」に比較的高い関心が示されました。また、50代、60代では「ゲノム編集食品・遺伝子組み換え食品」への関心が他の世代よりも高い傾向となりました。

【設問7】 パルシステムの農産物に求めること、期待することは何ですか？（最大3つまで選択可）



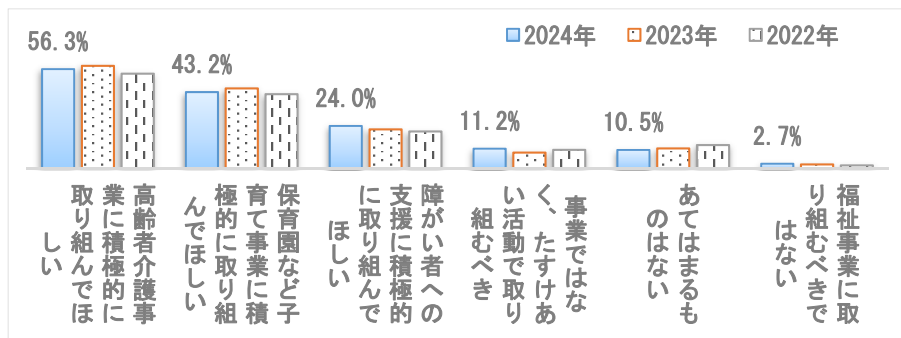
- ・【設問7】は今年新設の設問です。
- ・30代以下は「品質」を重視し、60代以上は「農業・化学肥料の削減」や「食料自給率の向上」に関心が高い傾向となりました。

【設問 8】 パルシステム東京は創設以来、生産者と消費者の交流を大切にし、様々な産地交流企画を実施しています。どのような産地交流企画であれば参加してみたいと思いますか？（最大3つまで選択可）



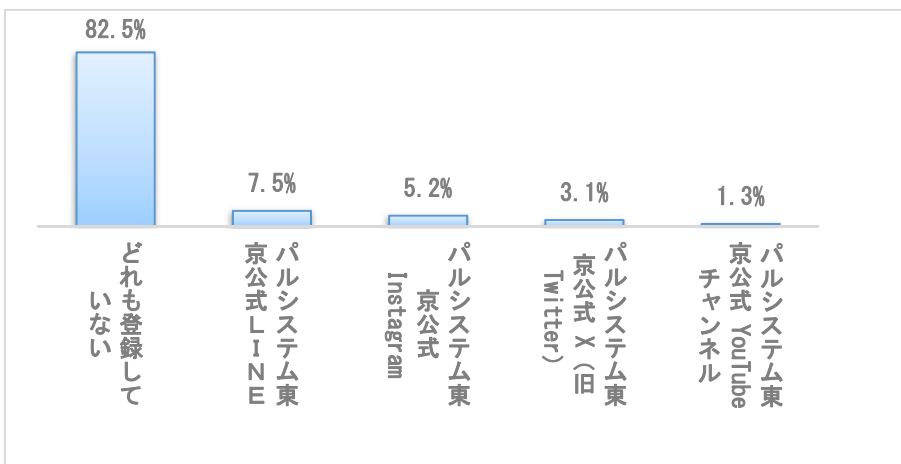
- ・【設問 8】は今年新設の設問です。
- ・40代以下は収穫体験ができる企画や親子参加型を好み、50代・60代には落ち着いた大人向け企画や援農、近郊産地への日帰り企画が好まれています。

【設問 9】 パルシステム東京では高齢者介護事業（介護保険事業）と子育て事業（保育園）に取り組んでいます。パルシステム東京に取り組んでいるこの福祉事業に、期待したいものは何ですか。（最大2つまで選択可）



- ・設問は2014年から取り続けていますが、傾向に大きな変化は見られません。
- ・年代別では、40代以下は子育て事業への期待が高く、50代以上では高齢者介護事業への期待が高くなっています。

【設問 10】 パルシステム東京からの情報発信ツールで、もっとも利用しているSNS媒体は何ですか。



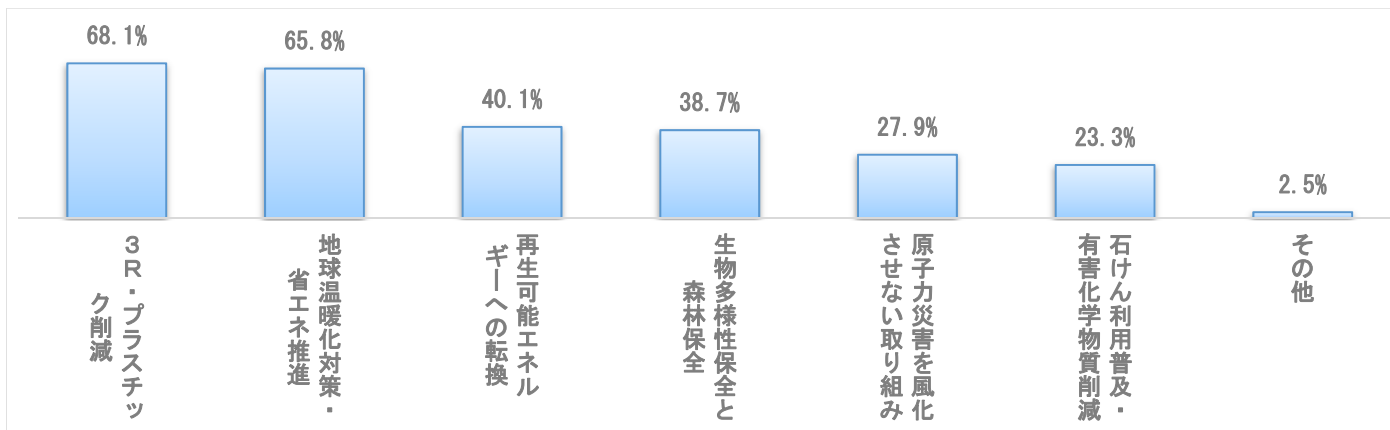
- ・【設問10】は今年新設の設問です。
- ・29歳以下はLINE、30代はInstagram、YouTubeは70歳以上の利用が比較的多い傾向が見られました。「もっとも利用している」で調査したため、複数利用の状況は不明ですが、全体的にSNSの利用率は低く、周知に課題が見られました。

【設問 11】 2024年5月から6月の期間に「暮らしに困っている方をお米でささえる募金」に初めて取り組みました。募金について該当するものを選んでください。



- ・【設問11】は今年新設の設問です。
- ・9割以上の方が「知らなかった」を選択しており周知に課題が見られました。募金は、60代が募金率2.7%と比較的高い傾向が見られました。

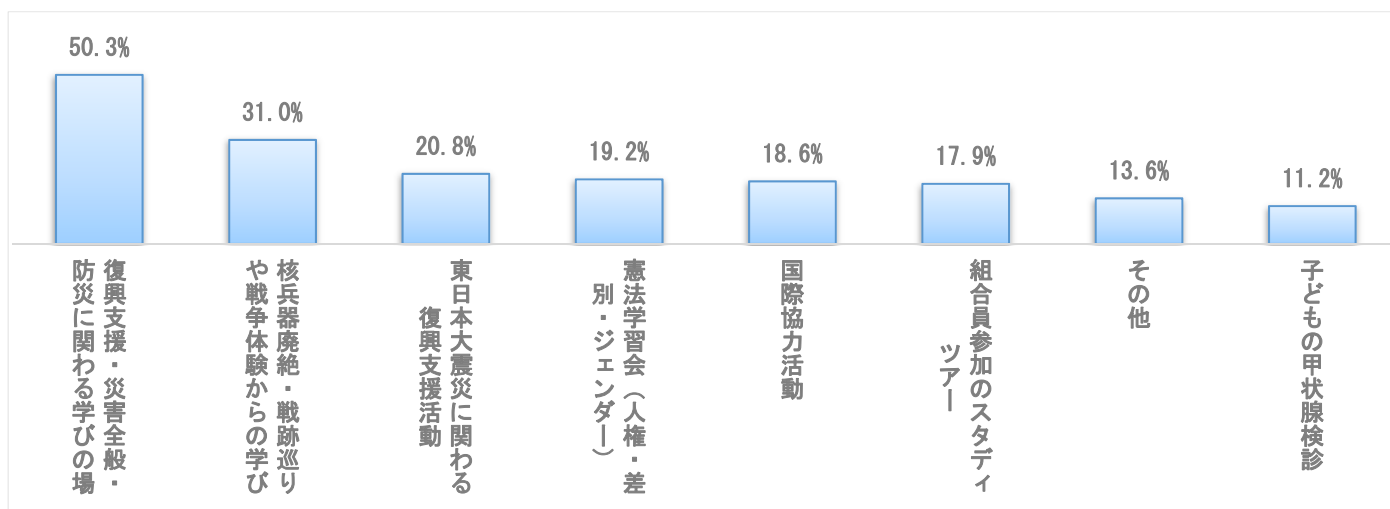
【設問 12】 パルシステム東京では、環境保全や資源循環型社会を目指すさまざまな活動を行っていますが、興味を引かれる分野は何ですか。（複数回答可）



- ・【設問12】は昨年同様の設問ですが、選択肢が変わっているため経年データの記載はありません。
- ・全年代で3R・プラスチック削減と地球温暖化対策・省エネ推進への関心が高く、特に60代で高い傾向となりました。29歳以下は生物多様性・森林保全に比較的高い関心を示しています。一方、原子力災害関連の取り組みは年代が下がるほど関心が低くなっています。再生可能エネルギーへの転換は全年代で一定の関心がありました。

【設問 13】 パルシステム東京の平和や復興支援に関わる取り組みのテーマや手法としてどのような企画に参加したいと思いますか。（複数回答可）

※パルシステム東京では、平和な共生の世界をめざし、さまざまな活動をすすめています。



- ・【設問13】は今年新設の設問です。
- ・70歳以上で核兵器廃絶・戦争関連の学びへの関心が高く、30代以下では子どもの甲状腺検診への関心が高いなど、世代による傾向の違いが見られました。国際協力活動やスタディツアーへの関心は比較的低く、実践的な国内支援活動への関心が高い傾向が示されています。

5. おわりに

アンケートへのご協力、ありがとうございました。2011年から実施している「あなたの声をパルシステム東京へ」は今回で14回目となりました。

アンケート結果は、パルシステム東京の次年度方針の策定や、具体的な施策・企画等の検討の参考として活用させていただきます。直近の例では、2024年10月に開設した公式LINEも本アンケートで寄せられた組合員の声に基づくもので、登録者は計画を上回って推移しています。

2025年度もWEBアンケートの実施を予定しています。引き続き、多くの声をお寄せください。

以上